



ふるさと納税 関東1位

# 「境町」ってどんなところ？

食と近未来と人がつながる 町巡り楽しんでみよう！  
行きたびに新しいが待っている！

## 2階 / 世界的美食家が評価する 「SAKAI TEPPAN BY WOLFGANG ZWIENER」

☎ 0280-87-5011 ※予約受付 9:00～18:00  
5日以上前に予約をお願いします。  
アメリカ本土だけではなくハワイや、六本木等にも展開しているウルフギャングステーキハウスです。特別な空間で味わう鉄板焼スタイルはこころでは！シェフが目の前で焼いてくれるライブ感、工夫を凝らした絶品料理は非日常の贅沢ですね。  
完全予約制 PRIME ファイルミニオコース 13,000円(税別)～(8品前後)  
住 境町 1341-1 開 17:00～22:30



世界的に知られるマンハッタン生まれのステーキハウス  
アメリカ農林省の格付けで最上級の品質と認定された最上級の熟成肉を提供します



## さかい河岸レストラン 茶蔵 (ちゃくら)

新国立競技場とリンクするデザインで外壁を覆うように無垢の杉材が配置されています。内観は吹き抜けの開放感で明るい日差しが降りそそいでいます。 (地図内)

## 1階 / SHED

☎ 0280-33-6605  
デリカ方式のカフェレストランです。イートインでランチ、手作りの新鮮なお惣菜やお弁当をテイクアウト、地元の小麦をつかったパンや可愛い雑貨たち。一瞬、都会のデパ地下にいるような感覚、美味しいもの、匠の品、居心地の良い空間がここにあります。  
住 境町 1341-1  
開 平日 11:00～16:00 土日祝 10:00～17:00  
※土日祝のお弁当販売 10:30～16:30



茶の種子エキス入り粉末茶「茶の種子緑茶」は、1本で500mlのペットボトル約50本分。粉末茶のためまるごと栄養を摂取することができます。健康維持のための新しい茶飲料です。

境町はかつて利根川水運の拠点「河岸(かしのまち)」として、人や物が行き交う文化交流の場でした。しかし時代の変化とともに財政赤字、少子高齢化、人口流出…の課題を抱える町に。この状況が町長の橋本正裕氏の就任以来、10年足らずで様変わり。いまは全国から自治体、企業の視察が後を絶たない注目の町に大変貌したのです。ふるさと納税7年連続で茨城県内1位、二〇二一年度48億8600万円、関東1都6県でも5年連続で1位に。さらに企業版ふるさと納税や補助金獲得にも力を注ぎ、税収入のアップを果たしています。そして使道も移住支援住宅をはじめ子育て支援や子供の英語教育、自動運転バス、利根川大花火大会、国際基準のスポーツ施設などに活用されるなど列挙しきれないほど盛り沢山。このスピード感とアイデアを具体的にしていく組織が機能しているのも、様々な施設で働く人々の様子に覗けるのです。公共施設運営を事業者に委託することで、お互いにWinWinの関係になり、イキイキとやりがいのある場が生まれ、維持管理や運営の負担を無くし収益を生み出すモデルとして好循環となつていきます。子育て世代にも、高齢者にも、訪れる人にも魅力あふれる新しい「河岸のまち」、食べて、見て、体験しながら町巡りを楽しんでみませんか。

## 国内初! 自動運転バスが走るまち!

自治体で初となる公道を定常運行で走る自動運転バスが2020年11月から運行を開始。フランス・ナビヤ社製の車両を導入し、運転を部分的に自動化した「レベル2」で運行中。現在は1日に往復計18便を運行し、利用者は延べ約1万9千人に上る。さらに2023年秋以降にはエストニアで自動運転シャトルの設計・製造を行う「オープテック社」が開発した新しい自動運転車両「MiCa(ミカ)」をコミュニティバスとして導入すると発表した。自動運転の中でも高度な技術が必要な「レベル4」に対応しているので、さらなる自動化へとシフトしていく予定です。



「NAVYA ARMA(ナビヤ アルマ)」3台 運行中(フランスNavya社製)  
現在ある3台のうち2台は、境町出身の美術家である内海聖史氏が制作した境町のコンセプトである「自然と近未来が体験できるまち」をイメージしたキービジュアルを採用。1台の外装には利根川をテーマに公募したデザインを採用。エストニアの「MiCa(ミカ)」のデザインはこれから決定になるため、お披露目は白い車体です。

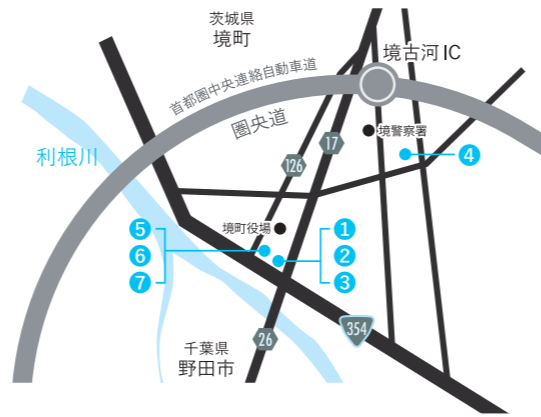
## 道の駅さかい

(地図内)  
敷地内には、さかいサンド、さかい河岸ブルワリー、観光案内所、物産館、沖縄県国頭村公設市場、情報館などあり、地元の新鮮な農産物があふれ、全国から取寄せた驚くほどの品々がぎゅ〜っと詰まっています。あなたが遠くに行けなかった、近くでも知らなかった、はじめての出会いが待っています。



## 道の駅さかい さかいサンド

☎ 0280-81-3101 (地図内)  
2018年10月にオープン。隈研吾氏設計の見事な木組みの外観が目を引きます。「境町のおいしいものを丸ごとサンド」をコンセプトにしたさかいサンド! 地元産の小麦「ゆめかおり」にこだわり、新鮮な地野菜はもちろん、ソースやドレッシング、ピネガーも道の駅さかいで販売しているものを厳選。ケーキのように並んでいるので選ぶのにも迷いそう。見た目も美しく、ボリュームもインスタ映えするので、お土産におすすめ! イートインスペースでも作りたてを味わえます。  
住 境町 1341-1 開 10:00～16:30 不定休  
インスタ <https://www.instagram.com/sakaisand/>



## S-Lab 境町地場産品研究開発施設

隈研吾氏の設計、研究開発の様子を外から眺めることのできる開放的なラボ。町の特産品を創り出すための研究施設。ここで開発された「干し芋」が、ふるさと納税において1億円を超える寄附額を集めるほどの人気商品となり、また町の新たな特産品として地場産品の振興や雇用増加にも繋がっています。※外観のみ見学可能  
S-Galleryの脇の路地状広場とS-Lab前のミニプラザを連続させ街の中に車の道とは異なる、ヒューマンでエピソードに満ちた回遊動線を創造。  
住 境町 1466-2 (地図内)



干し芋の原料となる、さつま芋は境町の厳選した契約農家から仕入れた「紅はるか」を100%使用しています。道の駅さかいの中の物産館にも「干し芋専門店ほいもの百貨」コーナーがあります。境町産として新しい名産品として急成長しているのは、開発に携わる人達と農家さんたちの熱い繋がりがいえます。今後も生産体制が強化されるそうで、ますます注目度UPです!

## モンテネグロ会館

☎ 050-3138-2885 (地図内)  
アルゼンチン共和国との170年の歴史が詰まった同会館は隈研吾氏設計により2020年に改築されました。幕末にペリーが来航した際、一行のモンテネグロ氏というアルゼンチン人船員を幕府役人であった境町の野本作次郎氏が接遇したことがきっかけでした。昭和12年、当時のモンテネグロ臨時代理公使の援助により建築。外交樹立120周年を迎えた年に、日亜両国の友好の証として遺して欲しいとの言葉をうけ、地方創生拠点整備交付金を活用し改築。築後81年が経過した当時の古材、家具及び看板等を活用して、歴史の遺産とさしま茶を楽しむおしゃれなギャラリー兼お茶屋さん生まれ変わりました。境町が担ってきた交流資料を見ながら、再生された空間を楽しむのがこの施設の醍醐味です。カフェでは、さしま茶やヘルシーな軽食を楽しむことができます。また、お茶や茶器などの販売スペースもあります。(事業者: 有限会社 長野園)  
住 境町上小橋 446-4 開 10:00～16:00 休 日・月曜 (見学自由)

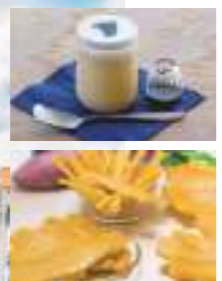


茶 cafe & shop chabaco



## S-ブランド「HOSHIMONO 100 Café」

☎ 0280-33-3118 (地図内)  
ほいもの専門店 HOSHIMONO 100 Café は隈研吾氏が境町で設計した第6弾施設「S-ブランド」内に2021年にオープンしました。店名は100店舗チェーン展開出来るほどの魅力あるカフェにしたいという想いからネーミングされています。特産品の干し芋を使ったオリジナルドリンクやカフェメニューなど、どれもこれまでにないテイスト。建物内には芋をイメージしたデザインが散りばめられているのも魅力です。2Fのイートインコーナーでぜひご賞味ください。  
住 境町 1459-1 開 10:00～18:00 (L.O.17:00) 休 火曜



## S-Gallery 肅祭賢美術館 (しゅくさんげう びじゅつかん)

☎ 0280-23-4148 (地図内)  
隈研吾氏による設計で、木を多用し白の基調は柔らかな空気を醸し出しています。境町で晩年を過ごし「孤高の画家」と呼ばれ、いずれの会派にも属さず主として個展を発表し独歩の世界観を確立した肅祭賢の美術館です。厳選酒脱な画風に触れながら、憩いの場としてもこの空間に浸ってみませんか。  
住 境町 1455-1  
開 10:00～17:00 ※12～13:15は昼休みの為閉館  
入 330円 (18歳未満は無料)  
休 月・火曜 (祝は開館、翌は振替休)

